<令和４年度　運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	有限会社　在宅ナースの会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護　ふくふく釜利谷
所在地	（〒　236　－　0045　） 横浜市金沢区釜利谷南 2-4-22　白山ハイツ 1 階		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

・ご本人とご家族の意向や要望を尊重し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けていくことができるよう、地域との連携・情報共有を常日頃から意識して取り組んでいます。
・笑顔で来所して頂き、笑顔で帰宅して頂けるよう利用者様一人一人に寄り添った介護サービスの提供を心掛けています。
・在宅生活の限界点を決めずに、看護小規模多機能の特性を活かし利用者様・ご家族が望む生活が送れるよう支援しております。
・職員一人一人が、地域における事業所の役割を理解できるよう意識づけています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦　2022　年　12　月　15　日	従業者等自己評価 実施人数	（　17　）人　※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦　2023　年　2　月　15　日	出席人数（合計）	（　9　）人　※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	■自事業所職員（　4　人）　□市町村職員（　0　人）　■地域包括支援センター職員（　1　人）　■地域住民の代表者（　2　人） ■利用者（　1　人）　■利用者の家族（　1　人）　□知見を有する者（　0　人）　□その他（　0　人）		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		①看護小規模多機能のサービスの特徴を職員が十分に理解した上でサービスの提供にあたれるよう、新人研修および社内研修を活用し実践して行けるようにする。 ②法人内外の研修については、可能な限り受ける機会を確保し、職員間の協力体制を構築し就業環境が充実するよう努める。 ③サービス提供における緊急時の対策と災害等の緊急時の対策方針を常に共有し、引き続き研修にも取り入れていく。	① 新人研修を実施し看護小規模多機能サービスの概要を把握し、理解しながら業務に取り組めるよう努めた。 ② 社内必須研修はZOOMでの研修を取り入れ、すべての研修を実施するよう努めた。外部研修への参加も職員のレベルに合わせ受ける機会を設けた。 ③ 社内研修と法人の防災委員会主導で、緊急時・災害時における対策方針を随時更新し共有できる体制づくりを行った。	年度の初めの新人研修から始まり、事業所の必須研修・事例検討会を毎年行う事によりサービス提供はもとより、事業所の役割や看護小規模多機能の意義を把握し理解できてきている。またBCP作成が義務付けられる中で、緊急時・災害時への対策を常に意識できるようになってきている。
Ⅱ.サービス提供等の評価	1.利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	①利用者・家族を含めた状況把握に努め、看護小規模の特性を活かし在宅生活が充実する計画作成に努める。 ②利用者の起こりうる状況変化の予測と、変化の早期発見・早期対応に繋げられるよう看護、介護職員だけではなく多職種での情報共有ができる体制をつくる。	① 本人、利用者家族が看護小規模のサービス内容を理解できる計画内容を作成し実践できるよう努めた。 ② 日々のサービス提供の中で、状況の変化や予測を話し合う機会を設け、主治医への報告、関係機関への迅速な情報共有を行える体制づくりに尽力した。	●住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう一人一人の状態に合わせたサービスの提供を心掛け、利用者および利用者家族へのサービス内容の説明を丁寧に行う事で在宅生活への不安を取り除くようにしている。 ●情報共有の意義を職員が理解する事で、何気ないコミュニケーションの中で重要な情報交換を行う事ができており、

		③サービス提供時における多職種での情報共有を利用者・家族にも迅速に伝達する意識を持ち、サービスの趣旨・サービス内容・医療的処置の方法などの説明も行い、十分な理解を得られるようにする。	③ 利用者・利用者家族と良好なコミュニケーションをとることで、情報共有を行いやすい関係を築き、理解しづらいサービス内容や医療ニーズの高い利用者にも理解していただけるよう十分な説明や補足を行った。	利用者の状態変化の早期発見・対応ができるようになってきている。
	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	①医療機関からの利用スタートについては、退院前・退院後も安心して在宅生活が送れるよう、主治医を含め多職種での支援ができるよう連携と情報共有に努める。 ②緊急時・急変時の対応をすべての職員が周知できている体制の構築に尽力する。	① 退院前のカンファレンスは特別な事情がない限り開催してもらえるよう医療機関に申し入れ、主治医を含めた多職種との連携を図り、退院後の在宅生活を円滑に進められるようにした。 ② 主治医の緊急連絡先を把握し、急変時の対応を迅速にできるよう看護師、ケアマネが 24 時間体制で連絡が取れる体制を構築している。	まだコロナウィルス感染症予防のため、積極的なカンファレンス開催には至っておらず情報共有に時間を要す、または円滑な情報共有ができない時もあるが、その際の多職種・多機関連携の体制構築に力を入れ、利用者および利用者家族が退院後も在宅生活に不安を抱かぬよう支援している。24 時間連絡が取れる体制は継続できている。
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	①地域との関りに積極性を持つとともに、事業所の地域における役割を明確にすることで地域住民の方々に看護小規模サービスの正しい理解に繋げていく。 ②医療ニーズの高い利用者、終末期の利用者の積極的な受け入れが常時できる体制づくりを継続する。	① 地域の行事があれば積極的に参加し、地域包括ケアシステムを理解することで事業所の役割を職員が理解できるよう努めた。 町内会長・民生委員・地域包括の方々へ情報提供を行い、少しでも看護小規模サービスの理解を促進できるよう努めた。 ② 職員の意識を高めることで医療ニーズの高い利用者、看取り支援の必要な利	夜勤に携わる職員全員が喀痰吸引等の資格を取得する事で意識を高め、医療ニーズの高い利用者であっても積極的に受け入れることができ、看護小規模多機能の事業所としての役割を果たすことができている。また地域に属する事業所として、地域での役割に貢献できるよう更なる意識付けが必要となる。

			用者の受け入れができる体制を構築した。	
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		看護小規模のサービスの概要を職員各々が再度認識し、サービスの導入により利用者及び家族が在宅生活を継続していけるか、また看取りまでの安心感を得て頂けているかを意識してサービスの提供に努める。	看護小規模サービスを職員全員が理解できるようミーティングで情報共有し、利用者・利用者家族からの要望およびいただく感謝の意を職員に伝えることで、家族の思いを意識してサービス提供に努め、少しでも安心して在宅生活が継続できるよう支援した。	看取り支援が増えていく中で、事業所の役割を職員が理解できるようにしている。利用者・利用者家族が在宅での看取りを安心して選択できるサービス提供を心掛けている。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		① 事業所の理念を意識して看護小規模多機能の利点を活かしサービス提供に努めることができた。 ② 社内研修を活用し充実した研修を行うことができた。外部研修の参加意識がもっと高まると良い。 ③ 職員間でコミュニケーションを取ることで柔軟な勤務体制を構築し心身の休息を図ることができている。 ④ 継続して防災訓練を行うことで、緊急時・災害時への意識が高まっている。利用者・職員の安全確保に尽力している	① 看護小規模多機能型居宅介護の特性を理解し、職員一人一人が理念に基づくサービス提供ができるよう心掛ける。 ② 職員の専門性を向上するため、積極的な研修参加を促し個々が目標を設定する事で事業所全体の質の向上を図る。 ③ 休憩や休暇が取りやすい職場環境と、職員同士が協力して不測の事態にも対応できる事業所を目指す。 ④ 緊急時・非常災害時に継続的なサービス提供ができるよう充実した BCP(事業継続計画)の確立を早期に実現し、事業所全体で情報共有できるようにする。
Ⅱ.サービス提供等の評価	１.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	① 住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう一人一人の状態に合わせたサービスの提供を心掛けることができている。 ② 利用者一人一人の目標を意識しサービス提供に努めている。 ③ 看護小規模サービスの特性を活かし、多職種・事業所職員間で情報共有を行うことで、利用者に合わせたサービス提供ができている。どんなに些細なことでも声掛けを行い看護・介護職間での連携が取れるようになって来ている。 ④ 問い合わせ・見学時に事業所の特性を少しでもわかりやすく説明し、在宅介護のイメージを持って頂けるよう心掛けている。また医療ニーズの高い利用者でも在宅介護を安心	① 利用者の特性(病状や生活歴)を理解し、介護･看護の面だけではない高齢者の暮らし全体の支援ができるようアセスメントし、職員間で共有できるようにする。 ② 利用者の計画・目標をより明確に把握することで、小さな状態変化でも見逃さずに、計画見直しに反映できるように努める。 ③ 日常的に利用者の状態変化の情報共有を行い、事業所内の連携と事業者外の多職種との連携を図り、それぞれの専門性を活かしたサービスの提供に繋がるよう支援していく。 ④ 利用者・利用者家族へ看護小規模のサービスを理解できるまで説明することで、サービス利用にあたり希望や意向を伝えやすい環境を作り上げ、その希望や意向をサービス提

		して継続できるサービスを提案できている。	供に反映できるようにする。
	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	① 休日・夜間問わず連絡体制が構築できている事を利用者および利用者家族に伝える事で相談・連絡しやすい環境を作り上げ、介護負担を軽減することができている。 ② 事業所のサービスの情報提供や地域との情報共有を行うことができている。	① 無理のない在宅生活が送れるよう医療機関、その他関係機関と情報共有を行う。また、すべての利用者の緊急時の対応を主治医と連携し、24 時間緊急時の対応ができる体制を構築する。 ② 運営推進会議の更なる活用方法を見出し、情報提供や地域への提案を行い、サービス提供に反映できるようにする。
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	① 地域への情報発信、事業所の啓発活動は継続できているが、地域の情報発信力を活用させていただく事も必要。 ② 職員の意識を高めることで医療ニーズの高い利用者、看取り支援の必要な利用者の受け入れができる体制を構築できている。 ③ 看護小規模多機能のサービスが地域での役割を果たしているということを事業所職員が理解できるよう情報共有に努めている。	① 「看護小規模多機能型居宅介護」のサービスを地域の方々に理解して頂くための、具体的な啓発活動を考案し実践していく。 ② 医療ニーズの高い利用者、看取り支援の必要な利用者の積極的な受け入れを継続して行える体制を維持し、職員の意識・技術向上も促すことにより、地域での役割を最大限発揮できるようにする。 ③ 「地域包括ケアシステム」の言葉を取り上げ、事業所全体で意識付けを行なっていく。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		在宅での看取り支援を含め、医療ニーズの高い利用者にも対応できるよう事業所として取り組み、職員一人一人が意識する事ができるようになって来ている。事業所の理念を再確認しより良いサービス提供に繋がるよう努力できている。	看護小規模のサービス導入により、住み慣れた地域・住み慣れた自宅で安心して在宅生活が継続できるよう支援し、利用者・利用者家族が在宅で看取りまでを選択できる安心感を得て頂けるよう尽力する。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表［事業所自己評価・運営推進会議における評価］

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
Ⅰ　事業運営の評価［適切な事業運営］							
（1）理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	15	2	0	0	●しっかりと利用者および家族のケアをして下さっていると思います。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・法人としての理念、事業所としての理念を掲げ実践している。 ・医療ニーズの高い利用者の支援を常とすることを職員が理解し、理念に則ったケアを心掛けている。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	14	3	0	0	●新入職員さんへの研修は非常に大切であり、不安を取り除く一助になると思います。また、サービスの概要を把握し理解することはより良いサービスの向上になると思います、	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・事業所玄関に掲示、業務担当表には印字されており、常に意識している。 **・看多機サービスを理解し、看護・介護の両職種の協同により実践している。**					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
（2）人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	10	7	0	0		✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・喀痰吸引や業務に必要な研修、資格取得の育成計画が作成されている。 ・新人研修、社内研修は年間を通して計画が立てられている。 ・計画が周知しきれていないところもある。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	13	4	0	0	●計画的に日々取り組んでいると思います。今後も継続されることを期待します。 ●目的意識を持って研修の企画・運営・実施されており内容も共有されていてすばらしいと思います。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・必須研修や社内独自の事例発表検討会を設け、その研修に参加できるよう業務の調整が行われている。 ・職員のレベルに合わせた外部研修を受ける機会がある。 ・喀痰吸引の研修は継続的に行われてお					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		り、資格取得者が増加している。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	13	4	0	0	●利用者の体調や状況など、職員の方全員で共有して下さっているので安心です。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・朝のミーティング時、話し合った情報を共有するためのノートを作成し、常に共有する機会を得ている。 ・普段からの職員同士のコミュニケーションにより情報を共有する機会がある。 ・職種間での隔たりがなく、共有しやすい職場環境にしている。					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	12	5	0	0	●利用者様と御家族のお話を聞けて施設に対する信頼感がうかがえます。 ●こちらの要望にいつもすぐに対応して下さるのでとても助かっています。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・会議にて得られた情報は、翌日のミーティングで共有され、業務に反映できるよう努めている。 ・利用者および利用者家族からの要望はサービスが偏らないように調整し、迅速					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		に対応できるようにしている。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	10	7	0	0	●職員の方が働きやすい職場環境にする事は利用者の方のサービス向上にもつながると思います。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・研修参加費補助で研修参加をしやすくすることで、能力向上の支援を行っている。 ・残業ができない職員の事情に合わせた時間帯で業務を行うことができる。 ・就業環境については、管理者およびサービス提供管理責任者が職員から聞き取りを行い、可能な限り対応している。 ・コロナ感染等、職員本人・家族に急な体調不良が生じても協力し助け合える環境ができている。 ・職員に合わせた勤務形態が柔軟にできている。					
（4）情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、	11	6	0	0		✓ 「情報の随時の更新」と「職員間

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	**[具体的な状況・取組内容]** ・毎朝のミーティングで利用者の状態や処置の変更等が報告され、その情報をノートに記載し情報共有を行っている。 ・情報の共有は迅速に行えているが、更新した内容をまとめた書類が遅れてしまうことがある。 ・どんなに小さな事でも情報として発信するようにしている。					で迅速に共有するための工夫」の２つの視点から、充足度を評価します
（5）安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	14	3	0	0	●項目も多岐にわたり、振り返りもされていると思います。(ヒヤリハット・事故報告について)	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・この項目における必須研修もあり、事業所単位で対策が講じられており、職員間で声を掛け合うことで意識付けも行われている。 ・ヒヤリハット、事故報告書をあげ、検討会を行うことにより具体的な対策が講じられている。 ・事業所内で起きた事故は横浜市に報告すべき事項は必ず報告し、法人内で共有している。 ・個人情報の記載のある書類は必ずシュ					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		レッダーにかけ廃棄している。 ・法人内に各委員会が設けられており、定期的な委員会開催により、具体的かつ実践的な対策が講じられている。					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	9	8	0	0	●緊急時・災害時の方針が随時更新され、共有できる体制は大事なことだと思います。 ●災害対策もしっかりされているので安心して利用できます。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・充実したＢＣＰ作成のための研修に参加し、緊急時・災害時に向けた対応方針を検討している。 ・年二回の防災訓練を行っており、地域の方にも参加していただき災害時の情報共有を行っている。 ・緊急時の医療バッグを備え、災害時には必要な物品を提供できるよう、各事業所で必要数を確保できている。 ・独居の方の安否確認には課題が残る。					
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況	11	6	0	0	●利用者やご家族が安心して	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮ら

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	**[具体的な状況・取組内容]** ・介護、看護の両職種が密に連携し自宅で自立した生活を支えている。 ・家族の身体的、経済的なことや、マンパワーを考慮しアセスメントが行われている。 ・利用者と家族等の介護者が安心して在宅生活が送れるようアセスメントしている。 ・利用者の状態(病状)の変化や自宅の状況に応じて必要時に評価しプラン修正、ケアに反映させている。 ・家族とのコミュニケーションを密に取り、昼夜の自宅での状況を把握しアセスメントを行っている。				生活できるよう、きめ細やかな支援ができていると思います。 ●24時間何があっても連絡できるという安心感があります。	し全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	12	5	0	0	●職員の皆さんの間で、体調や状態を共有して下さっているので助かります。	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・朝のミーティング等で常に情報やアセスメントの結果等の奉告を受け共有できている。 ・両職種間で情報共有し意見交換ができるようにしている。良好な関係が出来ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		・個別的な対応が共有されるよう職員間での声掛けや確認が行われている。					✓
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	9	8	0	0	●こちらの希望に沿ったケアをして下さるので本人もとても満足しています。家族もとてもありがたいと思っています。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます ✓
		[具体的な状況・取組内容] **・家族や利用者の訴えや要望を訪問や送迎時に確認しケアプランに反映している。** **・利用者、家族等の意向、それぞれの充足度も検討している。** **・多職種からの情報提供があり、情報に沿ったケアを進めている。** **・定期的な訪問により、利用者・家族等の介護者の思いを把握できるよう努めており、計画立案している。**					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成され	10	6	1	0	●なかなか家で一人ではやらないような体操なども行って下さり、機能の維持にとてもよいと思います。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有
		[具体的な状況・取組内容] ・寝たきりにさせないように離床し機能回復や維持を促している。 ・本人の持っている力を使い、生きがい					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
	ている	を失わないように計画が作成されている。 ・他職種の意見を重ね、計画が作成されている。					する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます ✓
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	9	7	1	0	●家族が気づかないような傷や体の状態をしっかりとみて報告して下さるので、その後、家族でも気をつけてみることができます。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です ✓
		[具体的な状況・取組内容] ・異常の早期発見に努めている。 ・看護、介護職により状況の変化が見られるときはすぐに報告できる体制を取っている。 ・状態の変化がなくとも三か月に一度評価し計画の見直しをしている。 ・状況変化の予測等、職員間の共有はできているが計画作成までの対応が遅い。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
（2）利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	10	7	0	0		✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況･取組内容] ・利用者、家族への関わりの中で得た情報や、状態・状況の変化は早期に報告され介護・看護職間で共有しアセスメントした上で計画に反映される。 ・入退院後の状況変化などを把握し、情報の共有を行い、見直しの実施を行っている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	12	5	0	0	●こちらの状況をしっかりと把握して下さっているので本人に合ったケアをしていただいています。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です ✓
		[具体的な状況･取組内容] ・利用者宅への訪問は適宜行われている。また、電話やメール等での連絡も取り、利用者・家族の生活状況を把握するよう努めている。生活状況や家族の意向、介護負担を把握し、通所・宿泊の調整をしている。 ・訪問により在宅生活状況の把握に努め、常時職員間で共有できている。 ・利用頻度を、本人及び家族と相談したうえで利用回数等の調整をしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	13	4	0	0		✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します ✓
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者の状況変化、計画変更、目標達成状況等は、毎月報告書を作成し主治医へ報告している。 ・主治医・薬剤師・ST・PT 等とも目標達成に向けて情報共有し計画へ反映している。 ・訪問診療の主治医と外来診療の主治医との連携に差がある。情報共有はされている。 ・利用者の状況変化時には速やかに主治医や事業所内外の他職種へ連絡し情報共有を行っている。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	14	3	0	0	●介護職・看護職どちらの方々にも、体調や状況などをしっかりと把握して情報を共有していただいていることを常に感じています。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うこ
		[具体的な状況・取組内容] ・医療面ではすぐに看護師に対応を求め、指導を受け、介護職で出来る事は対応することにより役割分担できている。 ・介護、看護職間のコミュニケーションが良好にできおり、声を掛け合いながら役割分担を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		・朝のミーティング等でそれぞれの立場からの意見交換・情報交換を行い確認している。 ・専門性を活かしつつ、お互いに壁を作ることなく役割を果たすことが出来ている。					とが重要です ✓
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	14	3	0	0		✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します ✓
		[具体的な状況・取組内容] ・朝のミーティングで意見交換、検討を行い、ミーティングノートにて検討内容、対応結果等を共有できている。 ・バイタル表を基に、その日の状況を両職種間で情報共有できている。 ・情報共有を行い、サービスが途切れることのないよう、確認を各々が行っている。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	13	4	0	0		✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割
		[具体的な状況・取組内容] ・病状等について、注意点等は迅速に情報提供が行われ事故も防げている。 ・看護師より利用者個々の処置、注意点、					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		状態の変化、病状やその対処方法等の情報提供をしている。また、介護職からの質問や困った事、意向などの相談や報告受けた時は看護職の専門性を活かし情報提供や提案を行っている。					の１つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	13	4	0	0	●ご利用者様はもちろんのこと、ご家族も安心できると思います。どの分野の仕事でも必要な事なので自分自身も気をつけていきたいと思いました。 ●利用者や家族の皆さんがサービスの内容を十分理解するのは時間を要すると思いますが、説明して理解していただけることは、皆さんが丁寧に説明されているからだと思います。 ●こちらが知らないサービスなども「こういうこともできますよ」とその都度教えて下	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者に合わせた説明、対応ができている。 ・見学、契約時において管理者・ケアマネより利用者および利用者家族に説明している。サービスの特徴など理解が困難な時はその都度説明を行い理解が得られるようにしている。 ・専門用語を使わざるを得ない時は、その説明を丁寧に行い、理解できるまで何度でも説明を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
						さるのでとてもためになり、ありがたいです。	
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	11	6	0	0		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・看護計画を作成し実践している。内容の説明は看護師が行っている。 ・ケアプラン、看護計画など計画立案、変更の際は利用者・利用者家族の理解度に合わせ、分かりやすく説明している。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	13	4	0	0		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します ✓
		[具体的な状況・取組内容] ・看護職が訪問し指導に当たっている。家族の理解度、習得状況に応じて繰り返し説明・指導を行っている。 ・看護師により説明が十分されているが、理解が得られない場合は訪問診療や病院受診時にも説明して頂けるよう医療機関と連携を取り、理解を得られるようにしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	14	3	0	0	●本人の希望をしっかりと取り入れて下さっているので、いつも本当に感謝しています。家族からの話も良く聞いていただいているので、とてもありがたく思います。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・状況、状態の変化に応じ常に本人や家族と話し合い、希望や意向を把握しサービスの提供に反映している。 ・カンファレンス等で、本人や家族の思いを重視しながら検討している。 ・必要時、希望・意向の確認をしたうえで職員間で共有している。 ・看取りについて話し合いの場を設け、本人・家族の意向に沿うようサービスの提供に反映している。 ・状態により主治医と連携を取り、本人・家族へ説明し情報提供している。本人・家族の思いや意向を傾聴し寄り添えるようサービス提供をしている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検	12	5	0	0	●家で気をつけるべきことも	✓ 「将来に発生し得る様々なリス

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	**[具体的な状況・取組内容]** ・利用開始時、その後も状態を分かりやすく説明し予測される変化やリスクを伝えており、自宅での注意点や対策なども合せて伝えている。 ・利用者のリスクを考え、どのようなリスクが想定されるか伝え、想定した上での支援方法を共有している。 ・利用者の状況により在宅生活の継続が難しくなると想定される場合は話し合い、利用者・利用者家族と現状の共有をするようにしている。 ・状態の変化があった場合はその都度利用者家族に報告し、自宅での注意点や対応等を共有している。				教えていただけるので帰宅後も注意してみることができます。	クを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	12	5	0	0		✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医より説明された後、本人・家族の理解度、受容状況を確認し思いを傾聴。必要に応じて説明を補足し丁寧な説明を心掛けている。また日々の状態の変化、今後予測される状況を看護師より説明し					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		家族の意向、反応等は記録している。 ・利用者、家族等には看護師やケアマネより丁寧に説明し利用者の意向を含め状況変化や日々の様子を細かく個別ファイルや看護記録に残している。					
2. 多機関・多職種との連携							
（1）病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	15	2	0	0	●必要時の情報共有など様々な場面で連携が取れていると感じています。 ●医療機関や多職種との連携は重要であり、必ずサービスの向上に繋がるものと思います。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます ✓
		[具体的な状況・取組内容] ・ケアマネと看護師が退院・退所前のカンファレンスに参加し、病院や施設、前ケアマネと情報を共有し在宅生活に向けての方向性を話し合っている。 ・利用前よりミーティングにて情報共有する事により退院・退所後に在宅生活が安心して過ごせるよう支援している。 ・住環境整備が必要な場合は福祉用具業者や病院の PT と家屋調査に行き、退院後に問題がないようにしている。					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有するこ	14	3	0	0		✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者
		[具体的な状況・取組内容] ・状態変化が予測される利用者について					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	とができている	は、家族と緊急時の対応方法を予め定めており主治医と情報共有している。 ・契約時に本人、家族と緊急時の対応について意向を聞いて書面に残している。					の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です ✓
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	14	3	0	0	●本当にありがたい体制だと思います。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します ✓
		[具体的な状況・取組内容] ・休日、夜間を問わずいつでも主治医または担当医と連絡が取れる体制があり、受診や往診の対応が可能となっている。 ・看護師、ケアマネも 24 時間連絡が取れる体制を構築しており、急変時の対応が遅れないように努めている。					
（2）多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	11	6	0	0		✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・二カ月に一度の運営推進会議が開催されており、地域住民代表・地域包括職員等から情報提供および情報共有をさせて頂き、サービスに繋がるよう努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
							✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
（1）地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	15	1	0	0		✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議の翌日にはミーティングで情報発信されている。その記録はファイルされ、誰でも閲覧できるようにしている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	8	8	1	0	●防災訓練に事業所に隣接する町内の組長に声をかけて参加してもらってはどうか。民生委員から声かけできます。 ●地域住民は福祉施設であることは知っているが「看多機」であることはあまり周知され	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ・事業所で行う防災訓練や、運営推進会議にて地域においての役割や看多機を理解して頂くための情報発信を積極的に行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
						ていないようなので「積極的な啓発活動」は効果があると思います。 ●地域の活動にも参加いただき役割を担ってくださっていると思います。 ●「ふくふく」さんは安心してみていただけるとてもよい事業所だと思うので、一人でも多くの方に知ってもらいたいと思います。	
（2）医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	0	0	0	17		✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を<u>実施してないていない場合</u>は、「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・右記の補足にある指定訪問看護事業所の指定は受けている為、対応は可能だが現在外部からの利用者がおらず、登録者以外の訪問看護は行っていない。 ・問い合わせがあった場合にも、登録者の対応が多く、登録者以外の対応が難しい状況。					
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする	16	1	0	0	●職員の皆さんの意識が高ま	✓ 「積極的な受け入れ」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容] ・喀痰吸引等研修を随時行っており、体制が整っているとともに、積極的な受け入れができている。				ったことで、より充実したサービスが提供できると思います。期待しております。	充足度を評価してください ✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」
36	○「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	11	6	0	0		✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓「受け入れることができる体制」が**整っていない場合**は、「全くできていない」 ✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] **・看護師だけではなく、介護職員も看多機の特性を理解しており、人工呼吸器を必要とする利用者の受け入れが必要な場合は積極的に受け入れる体制が取れている。現時点での利用者はいないが、問い合わせがあった場合は「対応可能」と伝えている。**					
37	○「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	12	5	0	0	**●この先看取りが必要になった場合もみていただけるという体制は家族としても安心感があります。**	✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] **・受け入れ体制が整っており、積極的な受け入れをしている。病院からの問い合わせ**					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		が多く、看多機のサービスが周知されてきている。 ・状態変化により看取り支援が必要となる利用者についても安心して最期まで過ごして頂けるよう常時対応している。					✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
（3）地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	4	12	1	0	●地域包括システムの在宅サービスとして地域の民生委員とケアマネジャーの情報交換会に参加して頂き、地域のネットワークの構築に努めて頂きました。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・看多機の事業所が地域包括ケアシステムの中で果たすべき役割を理解している。 ・言葉にすると難しく捉えてしまうが、サービスの提供を滞りなくすることで自ずと地域での役割が果たせている事を、職員間で共有している。					
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に	13	4	0	0		✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」につ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	**[具体的な状況・取組内容]** ・金沢区全域でサービスを提供している。 ・提供エリアを限定することなく地域全体を対象とし、在宅生活を支える核としての自覚を持ち積極的にサービスの提供をしている。					いて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	8	9	0	0		✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・防災訓練への参加を呼びかけ、課題提起や改善策等の提案が行われている。 ・社内研修の講師を務めて頂くなど、事業所が行っているサービス提供を理解して頂き、高齢化や防災の課題点を共有できるようにしている。					
41	○ 家族等や近隣住民などに対	12	5	0	0		✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	[具体的な状況・取組内容] **・近隣住民に声を掛け、異変があった時には事業所へ電話連絡を頂くようにしている。** **・家族等への介護指導は適宜行っている。** **・安全な在宅生活が継続できるよう、利用者と近隣住民との連携が取れるように努めている。** **・必要に応じ、家族への介護指導や福祉用具の提案を行っている。また休息も介護力を高めるためには必要な事を伝え、頑張りすぎない介護ができるよう、サービスの調整を行っている。**				**●地域の回覧等を活用して情報発信してはいかがでしょうか。** ●家族だけではわからない福祉用具などもいろいろと提案していただき、現在も使用しており、とても重宝しています。	力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ　結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている（　8名　） 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている（　9名　） 3．利用者の1/3くらいについて、達成されている 4．利用者の1/3には満たない		✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		[具体的な状況・取組内容] ・ほぼ達成されている。また達成が難しい場合は多職種の意見も取り入れ改善に向け話し合いをしている。		
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている（ 13名 ） 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている（ 4名 ） 3．利用者の1/3くらいについて、達成されている 4．利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] **・365 日 24 時間連絡が出来る体制を整えており、本人・家族等が連絡しやすい関係性を築く事に尽力している。** **・医療ニーズの高い利用者にはサービス導入時より介護者と一緒にケアしていく事で、安心感を得ていただいている。** **・介護負担を感じている時は宿泊も合せたサービスに切り替え、無理のない在宅生活の継続ができるよう支援している。**	**●いつでも連絡ができる体制があるのでとても安心です。**	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等にお	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている（ 14名 ） 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている（ 3名 ） 3．利用者の1/3くらいについて、達成さ		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
	いて、在宅での看取りに対する安心感が得られている	れている ４．利用者の１/３には満たない ５．看取りの希望者はいない **[具体的な状況・取組内容]** ・事業所内で看護・介護職の両職種間で連携が取れており、また主治医と密に連絡を取り合う事で看取りへの不安や負担感を軽減し、どんな事でも相談ができる体制を構築し安心感を得て頂いている。 ・在宅で看取るということを理解して頂くとともに、要望があれば事業所で看取ることも視野に入れて頂き、丁寧な説明を心掛けることで安心感を得て頂いている。	●この先、看取りの時期がきた際でも大丈夫という安心感があります。	看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「５．看取りの希望者はいない」